

飯南

い
い
な
ん

第83号

令和7年10月20日

- 2-3 9月議会報告
令和7年度各会計補正予算
可決した主な議案
決算特別委員会を設置
- 4-9 一般質問
- 10 採決の結果
議会活動報告／全員協議会の報告
- 11 常任委員会報告
- 12 明日を拓く



令和7年

9月定例会を終えて

9月8日から9月19日までの12日間の日程で開催

3月議会定例会において議決事項と決した「教育環境基本計画」は、議会が示した審査報告の内容が尊重され、本議会で可決された。教育委員会には、教育環境の在り方と今後について町民への丁寧な説明を求めたい。

長引く物価高騰に拍車をかけた令和の米騒動。主食用米の異常ともいえる高騰は学校給食にも影響がでており、保護者の負担を昨年度並みに抑えられるよう、学校給食会に高騰分を補助する。一方で30kg 1万5千円前後となったJAの概算金は、原材料や燃料費の高騰に頭を抱えていた米生産者にとって意欲を取り戻せるものとなった。町は、スマート農業による省力化と、担い手支援センターを支援する専門職員を配置し、生産基盤の強化を支援していく。

可決した主な議案

条例関係

・飯南町職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例の制定など2件

諸議案

・令和7年度赤名農村環境改善センター空調機改修工事請負契約の締結についてなど2件

予算

・令和7年度飯南町一般会計補正予算(第3号)など7件

報告

・令和6年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告

決算審査特別委員会を設置

令和6年度飯南町一般会計、各特別会計の歳入歳出決算及び各公営企業会計の決算を審査するため、決算審査特別委員会を設置した。

12月定例会で審査結果を報告する。

委員長	安部 誠也	委員	伊藤 好晴
副委員長	岸 光研	委員	高橋 英次
		委員	景山 登美男
		委員	高橋 徹

令和7年度 各会計補正予算 一般会計は 2億5821万円 増額

お試し暮らし住宅改修工事1050万円、スマート農業導入支援事業695万円、地方債繰上償還2億2326万円などの増額、庁舎太陽光パネル設置工事延期による1712万円の減額

会 計 名		補正予算額	予算総額
一 般 会 計		2億5821万円	79億3629万円
特別会計	国民健康保険事業	1066万円	6億3639万円
	介護保険サービス事業	18万円	4127万円
病院事業会計		676万円	14億6191万円
簡易水道事業会計		23万円	5億6861万円



まちの宝に厚い支援を

伊藤 好晴 議員

A 助成の内容
保健福祉課長 安部 農
対象人数は、8月末現在10人。町は4分の1負担で1万7385円、一般会計から国保会計への繰入金として補填している。18歳以下の子どもは42人で、全額免除すると

Q 子どもの均等割免除を
国は2022年度より国保の保険料の内、未就学児童の均等割の半額を助成しているが、対象人数は何人か。また、これに伴い町の負担が発生しているか。発生している場合には、どういう名目で、いくら負担しているのか。18歳以下の子どもの均等割を全額免除した場合の人数は何人か。財源はいくら必要か。
国による減免に上乘せし、子育て支援として18歳以下の子どもの均等割を全額免除することを提案する。町長の考えを問う。

A 一部減免は考えず
町長 塚原隆昭
一部の人の免除ではなく、被保険者全体の保険料を10%引き下げることにしている。(均等割は)町独自の減免ではなく、国の制度改正による見直しを求めている。

9万8120円必要だ。



Q 学校給食無償化を
全国各地で学校給食無償化がひろがっている。自治体の動きと運動に押され、石破首相は2月の国会で「令和8年度以降、できるだけ早期の制度化を目指したい」と言明した。
2月25日の自民・公明・維新の3党合意文書では「まずは小学校を念頭に、地方の実情等を踏まえ、令和8年度に実現する。その上で、中学校への拡大についても、できる限り速やかに実現する」とされ、6月の「骨太の方針2025」において給食無償化は「令和8年度予算の編成過程において成案を得て実現する」とされた。
国が学校給食無償化に足を踏み出したことは朗報と考える。そこで提案するが、来年度中には少なくとも小学校の無償化が実現するか、国の「予算待ち」にせず、今年度中に自治体独自の制度の創設・中学校への拡充を取り組むべきと思う。



調理風景(給食センター)

A 食材費補填で対応
町長 塚原隆昭
物価高騰には、食材費を補填することで「保護者負担を据え置き、給食の質は確保する」方向で対応してきた。「無償化は」国の動向も注視しながら、総合的に判断すべき」と考えており、今後の検討課題としている。

異常な物価高騰の中での子育て支援や少子化対策に寄与することができる。町長はどう考えるか。

小規模事業者支援を

内藤 眞一 議員



Q 補聴器購入助成金増額を

補聴器購入に伴う助成金は2万円を上限に助成事業がスタートしているが、少ない。
医療機関の証明書をお願いすれば、その費用も必要になる。確定申告の医療費控除の対象になるが、申請時に説明と周知を求める。



A 増額しない
町長 塚原隆昭
制度設計の段階で県内の9市町で、補助限度額を2万円から2万5000円で制定されている。早い段階から認知症の予防を目的に、補聴器購入費用の助成制度を使い、補聴器を利用するきっかけになればと制度設計をした。このままの額で続ける。
耳鼻咽喉科医会へ確認したが、診断書料は、県内や三次市内で1000円程度。
確定申告で医療費控除を受けるには「補聴器適合に関する診療情報提供書」が必要だが無料だ。

Q 中小事業者への支援を

最低賃金の改定額は、島根県では現行より71円高い1033円に改定される。
大幅アップは、働く人の生活改善につながる一方、体力の弱い中小零細企業の経営を圧迫する。政府も「中小企業や小規模事業者を強力に後押しする」と助成金の対象拡大や補助金の要件緩和を行なうとの考えを示した。
島根県商工会連合会は、厳しい経営環境にある中小零細事業者の支援を県知事に求めた。何らかの手当を期待している。

町内の事業者や個人事業主は頭の痛いところだ。知事に地域状況を更に説明し、支援要請を求めている。町独自の支援についても検討する考えはないか。

A 国・知事に要望した

町長 塚原隆昭

2年連続となる最低賃金の大幅アップは、国が推し進める「物価上昇を上回る賃金の普及・定着」を反映したもので、食料品をはじめ物価高騰が続いている経済状況だ。
労働者の処遇改善の観点からは大変喜ばしいが、中小零細企業の経営を考えると、喜んでばかりはいられない。
県町村会では、8月29日に県知事、9月3日には国に要望を行った。町独自の支援・補助はなかなか困難で、直接の賃金高騰に対する支援策はない。

中小企業、小規模事業者への支援は、経営資金の安定化を図るために保証料の一部を補助する「中小企業制度融資資金事業」など3事業がある。
活用してもらいながら、今後も継続的に支援する。

一般 質問

令和7年 9月定例会

協力しやすい自治組織を

高橋 英次 議員



町内には自治組織として自治振興協議会があり、地域住民の意見をまとめ、行政の窓口としての役割を担い、住民の声を反映させた地域づくりを目指し活動されている。

更に細分化された組織として「自治会」や「組」などがあり、ルールや規則、役割の分担などを決め、道路や水路、ごみ収集場所の清掃・管理など、住みやすい環境を保ち集落を維持している。また、高齢世帯の見守りや災害時の対応、移動手段の確保など、住民同士が助け合い地域での福祉活動も担っている。

近年、人口の減少と高齢化が進み、自治組織で役員を務めることができる人が減り、特定の人に「役」が集中し負担が過重になるケースが増えている。自治組織内での「役」を整理して減らせれば、住民の負担も軽くなるが、町の状況把握と対処について問う。

Q 自治組織内の負担軽減を

「第3次総合振興計画」では「地域の仕組みを見直し、少ない人口・世帯で継続できる地域運営の仕組みを検討する」としている。

今年度は、島根大学と中山間地域研究センターとが共同で「役」も含めた地域コミュニティの実態調査を実施している。

これを踏まえ、飯南町にふさわしい地域運営のあり方を考える検討委員会を立ち上げ、新たな地域運営組織の設立と運営支援に取り組む。

A 改善に取り組む

町長 塚原隆昭



Q 耕作条件に支援を

令和の米騒動を受け、国は主食用米の増産に舵を切った。町内ではほ場整備事業が進み、事業完成後は、利便性と身体的負担が軽減され、スマート農業とあわせ効率があがり、反収増も期待される。

反面、ほ場整備までしなくても「畔がやせた」「基盤の沈下」「排水が悪くなった」など、耕作条件が悪化し困っている農家もある。

こうしたところに救いの手を差し伸べることはできないか。農家へのUターンの後押しとなり、本町農業の維持発展につながると思う。

A 取り組みを進めたい

町長 塚原隆昭

農地の大区画化を進めており、これにより大型機械導入やICT活用が可能となり、営農の効率化、省力化が期待できる。

農地整備事業は15%の地元負担を伴うが、農家の負担をできるだけ少なくし、ニーズに合った事業を県と協議しながら進める必要がある。国の農地耕作条件改善事業を活用し救済する取組を進めたい。



ほ場

選挙制度改革を

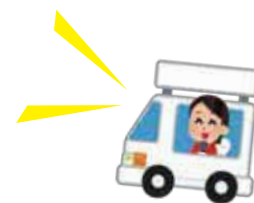
岸 光研 議員



Q 簡素化合理化を

今回、初めての立候補にあたり感じたことは、もともと選挙自体を簡素化合理化できないものか。もちろん、国が定めた公職選挙法に則って行なわれていることは、充分に理解するが、この地域に合った選挙のやり方があるのではと考える。

現在町内には、90カ所の掲示板があるが、広く選挙を周知するためとは言え、これほどの数が必要か。また、投票時間の繰り上げや、街頭運動時間の短縮なども検討すべきと思うがどうか。



A 選挙法に準じて改革

選挙管理委員会事務局長

永井 あけみ

自治体の裁量で、変更できる部分と、変更が難しい部分がある。

掲示板については、政令では130カ所であるが、90カ所に減らしている。投票所の見直しに合わせ設置数も協議したい。投票時間の繰り上げも行っているが、期日前投票所のうち1カ所は、必ず午後8時まで開かなければならない。街頭運動時間は、午後8時まで可能であり、候補者の判断によるものである。

Q 立候補しやすい環境づくりを

近年、地方議員のなり手不足が問題となっている。近隣でも、今春の選挙において定員割れとなった町もあった。このような状況を憂慮してなのか、ポスターや自動車借り上げなど、公費負担も実施されるようになった。

立候補する側からは、ありがたい制度と考えるが、根本的な手不足の解決に繋がるよう、今後一層の改革を進められることを望む。

A 環境を構築する

選挙管理委員会事務局長

永井 あけみ

令和2年の法改正により、公費負担が実施されている。本町においては、議員報酬の引き上げも実施された。

選挙管理委員会としては、議会事務局とも連携し、議員の役割や、魅力について、広く周知するとともに、選挙制度への理解促進に努めていきたい。



一般 質問

令和7年 9月定例会

空き家の活用取り組んで

高橋 徹 議員

事業見直しは効果的に

平石 玲児 議員

Q 空き家対策について

町内には多くの空き家が存在している。私はこの町内に残る古民家も財産と考える。

町ではセミオーダー住宅など、新築住宅に対する支援を行っている。需要もあり素晴らしい取組かと思うが、空き家などの今あるものをどう活用していくのか、早急に考えていく必要があると感じている。

町は、空き家に対してどのような考えを持っているのか。



空き家バンクに登録の家

A 適切な支援が必要

町長 塚原隆昭

現在日本国内においても、年々増え続ける空き家は社会問題となっており、背景には少子高齢化、人口減少、相続、老朽化など様々な問題が絡んでいる。

放置された空き家は、景観の悪化、悪臭や害虫の発生源、犯罪のリスクを高めることもあり、課題と認識している。所有者の希望があれば、有効活用ができるよう適切な支援を行う必要があると考えている。

Q 財政健全化と新規事業同時に

税収が伸び悩む中、社会保障費の増加や老朽化したインフラの維持が大きな課題だ。

これに対処するため「ビルド&スクラップ」という考え方を導入すべきだ。これは、既存事業を見直し、その結果生まれた資金を新たな事業に投入する手法だ。従来の「スクラップ&ビルド」という



庁舎内

手法では、既存事業の見直しが不十分で、効果が薄い事業が続いていて、限られた資源を新たな施策に振り向けることが難しくなっている。この手法で、より重要な施策に資源を集中し、効率的に財政を運用できると考える。

「ビルド&スクラップ」の考え方に基づき、既存事業の見直しはどのように進めるのか。また、町民に対し財政状況や新規事業、既存事業の見直しについて、町長自身が説明してはどうか。

A 事業見直しを進める

町長 塚原隆昭

限られた財源を効率的に活用するために、既存事業の見直しを進める。

また、事業の見直しや廃止が住民生活へ影響することに配慮し、町民に対して財政状況や事業内容を広報すると共に、町民との意見交換の場を増やし理解を深める。

Q 改正鳥獣保護管理法への対応は



クマの出没が増加し、迅速な対応を可能にするために鳥獣保護管理法が改正され、市町村長の判断で発砲できる「緊急銃猟」が導入された。猟友会の高齢化が進む中、体制の見直しが必要だ。

ハンターが安全な駆除活動ができる体制づくりが重要だ。改正法に基づいたガイドラインの実行で、ハンター自身の安全、市街地での発砲の際の安全確保ができる。

A 安全管理体制強化する

町長 塚原隆昭

これまでと同様に、県へ人員の派遣を要請し、クマの捕獲技術指導や、道路封鎖、住民の避難誘導など、安全管理において支援してもらう。

猟友会、県、警察と連携して研修会を実施し、机上演習や実地訓練を重ね、知識と対応力の向上を図る。

職務としての免許取得は、慎重に対応する。

Q 空き家の現状把握

空き家の数や状態などの情報に加え、持ち主の思いや考えを知り、汲み取っていくことが重要だと考える。

地区ごとの協力体制など、町民と一緒に問題解決をしていくことが、これからの飯南町に必要なことだと考える。

空き家バンクに登録されていない多くの空き家に対し、町からアプローチしていく考えはないか。

A 実態を調査

町長 塚原隆昭

5月に固定資産税の通知文書を出しており、合わせて空き家バンク制度を紹介するチラシを同封している。所有者に対して登録をお願いしており、一定の成果がある。

現状把握については調査から10年が経過しており、全域で実態を調査する。

Q 町営頓原球場の整備を

2030年国民スポーツ大会のソフトボール予定地として頓原球場があるが、球場内外の整備が必要と考える。

飯南高校野球部の活動、町内小中学校の活動、町民の利用もある。その中でも近年の飯南高校の活躍は、町民の皆様にもいい影響を与えていると感じる。

整備計画と今度の方針について問う。

A 計画的な整備を

教育長 大谷哲也

内外野の土の入れ替え、防球ネットの整備、トイレのバリアフリー化、倉庫設置などの計画的な整備を必要な金額などを把握して進めていく。

大会運営に町を挙げて万全を期していきたい。



総務厚生常任委員会

委員長：景山登美男 副委員長：安部 丘
委員：早樋徹雄 伊藤好晴 高橋 徹

令和7年度 飯南町一般会計補正予算(第3号)

庁舎臨時管理費 1712万円
庁舎への太陽光パネル設置は次年度に見送った。

訪問介護事業支援補助金 350万円
訪問介護事業は令和6年度の介護報酬改定により運営が一層厳しくなった。

町内唯一の訪問介護事業所である社会福祉協議会に対し、令和6年度から8年度の3年間、上限を350万円とし事業継続への支援を行う。

子ども・子育て支援対策事業 36万円
保育所を取り巻く現状や課題を整理し、安心・安全で魅力ある保育環境のあり方を、保育所の設置数等を含めて検討する「保育所のあり方検討委員会」を設置し、委員会を開催する経費。



特別養護老人ホーム統合新設の候補地



飯南病院玄関改修現場

教育経済常任委員会

委員長：高橋英次 副委員長：岸 光研
委員：内藤真一 安部誠也 平石玲児



8月豪雨災害の発生箇所



太陽光パネル設置予定の浄化センター

令和7年度 飯南町一般会計補正予算(第3号)

担い手育成総合支援事業 76万円
農業者への一貫した支援が可能となるよう飯南町農業担い手支援センターに専任職員を配置する。

スマート農業導入支援事業 695万円
法人7件、個人4件へのG P Sトラクター、高密度播種機、G P S田植え機、高度水管理システムなど導入に補助をする。

学校給食臨時管理費 151万円
物価高騰による学校給食会への補助金増額
この補正予算で令和6年の給食費の単価と同様になるが、来年度以降の方針を問うた。教育長からは保護者負担を据え置きたいと思っているとの回答だった。

採決の結果 [9月定例会]

件名	結果	伊藤好晴	内藤真一	高橋英次	安部誠也	景山登美男	安部 丘	平石玲児	岸 光研	高橋 徹
飯南町職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度赤名農村環境改善センター空調機改修工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町教育環境基本計画の策定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度飯南町一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度飯南町介護保険サービス事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度飯南町病院事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度飯南町簡易水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度飯南町下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

臨時会(8月1日開催)

監査委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	除	○	○
財産(学校給食共同調理場配送車)の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度飯南町一般会計補正予算(第2号)	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成議員 ●反対議員 欠は欠席 除は除斥

全員協議会の報告

令和7年8月1日(金)

- ①飯南町教育環境基本計画の策定
- ②飯南町保育所の今後のあり方に関する協議開始
- ③「あじさい薬局」(来島)の臨時休業

令和7年8月25日(月)

- ①飯南町地域防災計画の修正
- ②防災訓練の取りまとめ
- ③大雨による災害発生状況

令和7年9月18日(木)

- ①選挙当日における投票所の閉鎖時刻繰り上げ
- ②令和7年度飯南町総合振興計画等評価委員会の答申
- ③知事要望
- ④令和7年度町政座談会
- ⑤脱炭素事業
- ⑥志々小学校の頓原小学校への統合
- ⑦飯南町教育環境基本計画説明会の開催
- ⑧飯南病院医師・診療体制
- ⑨人権擁護委員の推薦(議員のみ)

議会活動報告 [7月～9月]

7月 1日 議会広報常任委員会 (議会広報紙編集作業)
7日 議会広報常任委員会 (議会広報紙編集作業)
8日 教育経済常任委員会

8月 1日 臨時議会(初議会)・全員協議会
7日 島根県町村議会広報研修会
15日 飯南町二十歳のつどい
20日 教育経済常任委員会
21日 町村議会議長会臨時総会
22日 飯南町秋季畜産共進会
25日 全員協議会
26日 議会意見交換会

9月 3日 議会運営委員会 (9月定例会の議案説明、日程外の協議)
4日 議会広報常任委員会
8日 9月定例会：本会議(町長提出議案の説明、質疑、委員会付託)
11日 本会議(一般質問)
12日 委員会審査
16日 委員会審査、議会運営委員会
17日 委員会審査
18日 委員会審査、予算特別委員会、全員協議会
19日 本会議(委員長報告、討論、採決)
24日 一期議員研修会(松江市)
25日 議会広報常任委員会(議会広報紙編集作業)
25日 教育経済常任委員会
27日 島根県種畜共進会(松江市)
29日 議会広報常任委員会(議会広報紙編集作業)

新人議員紹介

岸^き 光研^{こうけん} 議員

皆様のご支援をいただき議員としての活動をスタートすることとなりました。

責任の重さを肝に銘じ、ふるさとのために尽力していきたいと決意した次第です。ご指導ご鞭撻を、よろしくお願い申し上げます。

3つの重要課題

わが町飯南町には、清らか



岸議員

な水の流れ、緑豊かな自然、そして何より人情味溢れる住民性と誇るべき多くの財産があります。これらの宝を守り次世代へと受け継いでいかねばなりません。そのために、以下に掲げる政策に取り組んで参ります。

次代を担う人材育成

町づくりは人づくりと言われるように、活力ある町には町をけん引するリーダーが必要で

自立して暮らせる生活環境

安易に行政支援(公助)に頼るのではなく、自助・共助で暮らせる町を目指します。

子供たちのための

教育環境充実

わが町の子供たちは協調性に富み、我慢強く何事にも前を向いて取り組んでおり、この伝統を守り抜いていきます。

これらの政策は、多くの財源を必要とするものではありません。住民の意識が変われば町は変わると信じています。この町に生まれて良かった、この町で暮らして良かったと思える町となるよう邁進していきます。

高橋^{たかはし} 徹^{ととむ} 議員

私は飯南町で生まれ育ちました。4年前に飯南町に帰り、町内で働きながら様々な活動をしていく中で「自分も町の力になりたい」と思い、立候補を決意しました。

私は飯南町で暮らす中で、自然豊かな環境や人のつながりの温かさの魅力を感じる一方で、人口減少や担い手不足など、町が抱える課題も強く感じています。特に移住者の受け入れや農業などの継承は、町の未来を守るために欠かせないテーマであると考えています。

若い世代の視点を生かし、移住希望者が安心して根を下ろせる環境づくりや、挑戦し



高橋議員

たい人を支える仕組みづくりに力を注ぎます。

また、私と同じ若い世代が町に希望を持ち、暮らし続けられるようなまちづくりを進めたいと考えています。

地域の声を丁寧に聞き、皆さまと共に一歩ずつ歩んでいくことを大切にしながら、飯南町の「あかるいみらい」に貢献できる議員を目指して努力します。どうぞよろしくお願ひいたします。

今月の表紙写真



山間の学び舎には青春の大歓声が響きわたっていました。飯南高校伝統の鵬雲祭(飯南高校学園祭)は「桜梅桃李(おうばいとうり)」をテーマに開催され、写真は終盤の総合選抜リレーのものです。因みに「桜梅桃李」とは「それぞれが独自の美しい花を咲かせること」という意味です。素敵なテーマですね。

《キラリ★飯南人》募集中

「明日を拓く」で取り上げてほしい個人・団体などの情報をお寄せください。議会広報委員が取材に伺います。

《応募先》飯南町議会事務局
0854-76-2190



議会広報常任委員会

委員長:安部 丘 副委員長:高橋 徹 委員:伊藤 好晴 安部 誠也 平石 玲児 岸 光研

飯南町議会事務局 島根県飯石郡飯南町下赤名880番地 TEL0854-76-2190 FAX0854-76-2867